

上越教育大学創立40周年記念

# 昭和から平成の 教育展

上越教育大学 学校教育実践研究センター  
後援：上越教育大学 振興協力会

上越教育大学は上越市民の大誘致運動の成果によって設立された大学です。創立40周年を迎えるにあたって、「昭和から平成の教育」をテーマに教育展を催し、市民と共に40年の歩みを振り返りたいと考え、記念セミナーと映写会を行います。また、スヌーズレンルームの公開や昭和から平成にかけての教材教具、教育文化資料を展示します。

**平成30年10月6日(土)**  
**会場：学校教育実践研究センター**

**40周年記念セミナー1** 9:00~10:30

## 上越地域の教育風土を 育んできたもの



講師：上越教育大学元特任教授  
**寺田喜男先生**

学校教育を概観すると、「違い」を生み出している「教育(的)風土」があるように思います。それは、地域の自然環境や自然環境に規制される社会環境であったり、その中で育まれた人的環境、積み重ねられた歴史的環境(伝統)であったり、言葉では表現しにくい「雰囲気」であったりします。

上越地域の小中学校の教育実践の経緯をいくつかの観点から概観し、「上越カリキュラム」を生み出してきた「上越地域の教育風土」について考えていきます。(寺田先生からいただいたセミナーの概要です)

**40周年記念セミナー2** 10:40~12:10

## 「発酵のまち上越」の 食文化



スキージ

講師：上越教育大学教授  
**光永伸一郎先生**

40周年を機に、上越の食文化をPRしたいと思います。

まずは、みそ、お酒など、地方色豊かな上越の発酵食品を紹介します。発酵の主役である微生物(こうじ菌や酵母菌)についてもお話します。

また、上越市出身で発酵学の権威・坂口謹一郎博士の功績についても触れたいと思います。

そして、発酵食品以外の上越の誇る食文化について紹介したいと思います。

(光永先生からいただいたセミナーの概要です)

**映写会 (はつらつ元気塾主催)** 13:00~14:30

## 「夢は牛のお医者さん」

昭和62年、たった9人の子どものための小学校に3頭の子牛が“入学”した。まっすぐに夢を追った少女の26年間の記録。



**アフタートーク**

14:30~15:00

舞台になった学校で当時勤めておられた吉田先生から、「牛の飼育」という教育活動が、どのように形になり、どのようなドラマがあったのかについて語っていただきます。

入場料：一人 800円 定員100名

※高校生以下無料

当日会場でお支払いいただきます。

定員に達した場合、入場をお断りする場合があります。

講師：上越市立直江津小学校長  
**吉田光夫先生**



### 申込書

下記申し込みフォームに記入しFAXで送信するか電話、メールでご連絡ください。

希望セミナー・映写会に○をつける	お名前	電話番号かEメールアドレス
・セミナー1 ・セミナー2 ・映写会		

上越教育大学  
学校教育実践研究センター

※附属小学校のとなりです

http://www.educ.juen.ac.jp  
Mail gakkyc@juen.ac.jp  
Tel 025-525-9147  
Fax 025-525-9860

上越教育大学創立40周年記念

# 昭和から平成の 教育展

上越教育大学 学校教育実践研究センター  
後援：上越教育大学 振興協力会

## 寺田喜男先生のこれまでの主なご経歴

牧村立牧小学校長、上越市立東本町小学校長、白山会館運営委員長  
上越市教育委員会学校教育課長、上越市立教育センター長  
上越教育大学教職大学院特任教授、上越教育大学大学院同窓会長

## 光永伸一郎先生のこれまでの主なご経歴

農学博士、上越教育大学大学院教授  
にいがた食の安全・安心審議会委員、上越発酵食品研究会委員  
坂口謹一郎博士顕彰委員会委員

## 吉田光夫先生のこれまでの主なご経歴

三条市立月岡小学校長、上越市立直江津小学校長  
上越市教育委員会学校教育課長  
1987年当時に「夢は牛のお医者さん」の舞台になった学校で教諭

## 教育文化資料の展示

学校教育実践研究センターでは、各学校の研究紀要や出版物、閉校した学校の閉校記念誌なども収蔵しています。  
また、県内ほとんどの学校の校歌（閉校した学校も含め）を収蔵しています。戦前の学校日誌や戦後すぐの教育用図書等も展示する予定です。

## 教育用コンピュータの展示

昭和の終わり頃からの教育現場で使われたコンピュータ（アップル・マッキントッシュSEやNEC9801シリーズ、シャープのMZシリーズなどコンピュータ黎明期のマシンなど）を含め、昭和から平成にかけてのさまざまな視聴覚機器を展示します

## スヌーズレンルームの公開

学校教育実践研究センターのスヌーズレンルーム（ブラック・ルーム、アクティビティルーム、ホワイト・ルーム）を公開します。  
スヌーズレンとは、障害が重い人たちでも楽しめるように、光、音、におい、振動、温度、触覚の素材、こんなものを組み合わせたトータルリラグゼーションの部屋のことを言います。ヨーロッパでは幼稚園からギムナジウムまでさまざまな教育現場で取り入れられ、最近では赤ちゃんやそのお母さんのリラクゼーション、認知症の方々への効果が期待されています

平成30年10月6日（土）  
会場：学校教育実践研究センター



上越教育大学学校教育実践研究センター

<http://www.educ.juen.ac.jp>

Mail [gakkyoc@juen.ac.jp](mailto:gakkyoc@juen.ac.jp)

Tel 025-525-9147

Fax 025-525-9860

給食でなつかしい揚げパン  
…あるかな



学校教育実践研究センターのスヌーズレンルーム